

## No. 3-1 漁船をリース方式で導入したい (浜の担い手漁船リース緊急事業)

|          |                                        |               |  |            |  |                                    |  |            |  |
|----------|----------------------------------------|---------------|--|------------|--|------------------------------------|--|------------|--|
| 最初の相談先   |                                        | 所属漁協          |  | 普及員（水産試験場） |  | 県の担当者                              |  | その他<br>( ) |  |
| 県の担当グループ |                                        | 漁政課 経営・組合グループ |  |            |  | TEL029-301-4075<br>FAX029-301-4089 |  |            |  |
| 事業名      | 水産業競争力強化緊急事業(TPP 対策)<br>浜の担い手漁船リース緊急事業 |               |  | 事業の所管機関    |  | 国（水産庁 研究指導課）                       |  |            |  |

### 事業の概要

〔事業主体〕 リース事業者：茨城沿海地区漁業協同組合連合会

〔事業内容〕 水産業の競争力強化を図るため、「浜の活力再生広域プラン（通称「広域浜プラン」）」に基づき、中核的漁業者として位置づけられた者が所得向上に取り組むために必要な新たな漁船を円滑に導入できるよう支援します。

〔補助要件等〕 リース漁船の借受け希望者の選考基準（一部※）

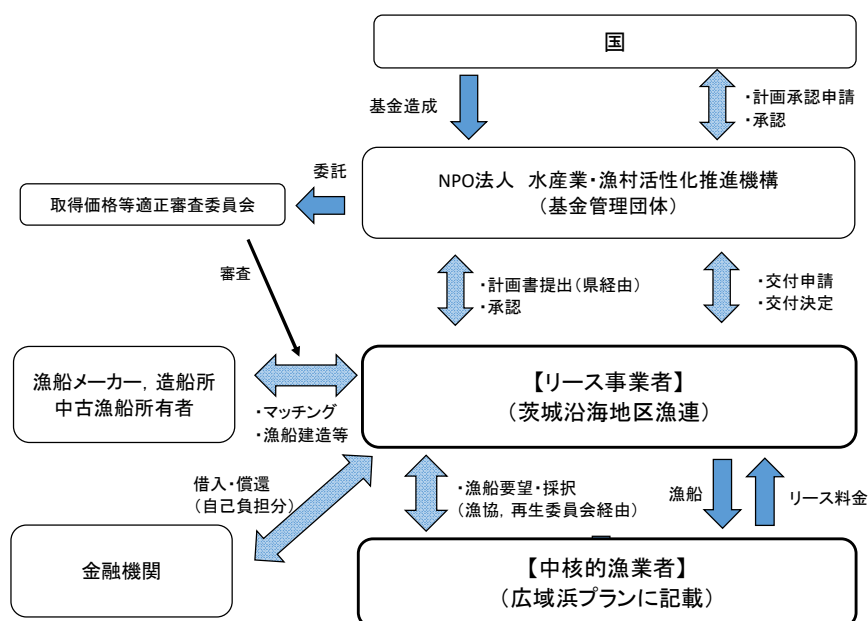
- ・広域浜プランにおいて中核的漁業者として位置づけられた者であること
- ・原則55歳未満であること、または、45歳未満の後継者が確保されていること
- ・現在使用している漁船の船齢が高い（老朽化が進んでいる）こと

※選考基準の詳細は、所属漁協を通じて茨城沿海地区漁連へお問い合わせください。

〔補助対象経費・補助率など〕

- ・リース事業者に対し、リース漁船の取得・改修費の1/2が支援されます。
  - ・借受者（漁業者）は、5年程度のリース期間において、取得・改修費の1/2相当分を、リース料として支払います。
  - ・リース料金支払後は、借受者（漁業者）がリース漁船の所有者となります。
- （注）リース漁船の取得は、リース期間終了後となります。

〔事業の仕組み〕



**No. 3-2 漁船をリース方式で導入したい**  
**(R6～ 次世代漁業人材確保支援事業)**

|          |                                                                                                                                                                  |             |                                    |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------|
| 最初の相談先   | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">所属漁協</div> 普及員（水産試験場）         県の担当者         その他<br>(            ) |             |                                    |
| 県の担当グループ | 漁政課 経営・組合グループ                                                                                                                                                    |             | TEL029-301-4075<br>FAX029-301-4089 |
| 事業名      | 次世代漁業人材確保支援事業<br>(国事業名「被災地次世代漁業人材確保支援事業」)                                                                                                                        | 事業の<br>所管機関 | 国（水産庁 研究指導課）                       |

事業の概要

[事業内容] ALPS 処理水の海洋放出による漁業経営への懸念に対し、本県漁業の担い手確保を図るため、次世代の漁業者が事業承継または独立して操業する際に、漁船・設備等の導入を、リース方式により支援します。

[補助対象者] 漁家子弟を含む次世代へ承継する経営体  
 独立して新規に就業する経営体

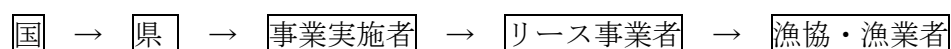
[補助対象経費・補助率など]

漁船・設備等取得、改修費の 3/4 以内（国 1/2、県 1/4 以内）

上限額：事業承継の場合は 7,500 万円、それ以外は 1 億 5 千万円。

※なお、リース期間終了後は、借受者（漁業者）に漁船が譲渡されます

[事業の流れ]



## No. 4 古くなった漁船のエンジンを更新したい

|          |                                           |                                    |            |
|----------|-------------------------------------------|------------------------------------|------------|
| 最初の相談先   | 所属漁協 普及員（水産試験場）                           | 県の担当者                              | その他<br>( ) |
| 県の担当グループ | 漁政課 経営・組合グループ                             | TEL029-301-4075<br>FAX029-301-4089 |            |
| 事業名      | 水産業競争力強化緊急事業（TPP 対策）<br>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 | 事業の<br>所管機関                        | 国（水産庁 企画課） |

### 事業の概要

〔事業実施者〕 補助要件を満たす漁業者

（所属漁協や茨城沿海地区漁連等を通じて希望者の取りまとめや手続を行います。）

〔事業内容〕 水産業の競争力強化を図るため、「浜の活力再生広域プラン（通称「広域浜プラン」）」に基づき、漁業者が所得向上に取り組むために必要な新たな漁船のエンジン及びボールローラー等を円滑に導入できるよう支援します。

〔補助要件等〕 漁船のエンジン及びボールローラー等の更新希望者の選考基準（一部※1）

- ・広域水産業再生委員会に属する漁業者であること
- ・現在使用している漁船のエンジン等の老朽化が進んでいること※2

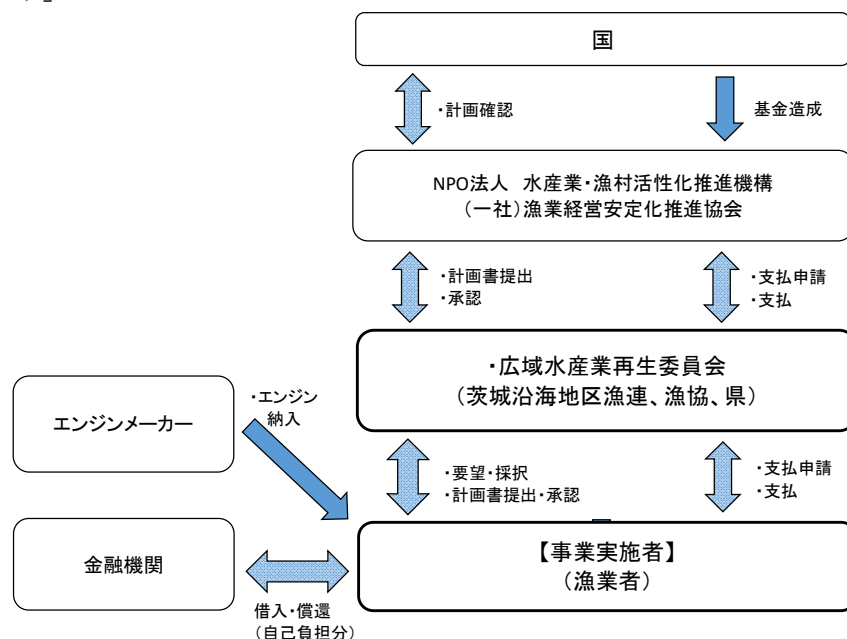
※1：詳細は、所属組合を通じて茨城沿海地区漁連にお問い合わせください。

※2：導入するエンジン等の性能等についても条件があります。

〔補助対象経費・補助率など〕

- ・国の機関から事業者（漁業者）に対し、漁船エンジン等導入費用の1／2が補助されます。
- ・助成の上限額は5,000万円以内とし、助成対象となる機器等の導入費用は機器本体のみです。

〔事業の仕組み〕



[illegible]

[補助対象経費・補助率など]

1. 水産業強化支援事業

- ・補助率は整備する施設により 1/2 以内、4/10 以内のものがある。対象施設は以下のとおり。

| 補助率 1/2 以内の施設                                                                  | 補助率 4/10 以内の施設                |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 荷さばき施設、鮮度保持施設、作業保管施設、海水処理施設、漁業作業軽労化機能整備、燃油補給施設、省エネルギー型施設機能整備、女性活動拠点施設、小規模漁場施設等 | 加工処理施設、畜養施設、漁獲物運搬施設、漁船保全修理施設等 |

- ・個人施設又は目的外使用の恐れがある施設、漁業活動に直接関わる漁船や漁具、消耗的な資材費、用地買収費、借地料、補償費、種苗購入費等は交付対象としない。
- ・施設撤去費用は交付対象としない。

2. 水産業競争力強化緊急施設整備事業

- ・補助率は 1/2 以内。対象施設は以下のとおり。

| 整備対象施設                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 荷さばき施設、省エネルギー型施設機能整備、燃油流通効率化施設、加工処理施設、自然エネルギー利用施設、海業支援施設、作業保管施設、海水処理施設、岸壁等の軽労化施設、密漁等監視施設、漁具漁箱等洗浄施設、固定式燃油補給施設、鮮度保持施設、水産廃棄物等処理施設 |

- ・個人施設又は目的外使用の恐れがある施設、漁業活動に直接関わる漁船や漁具、消耗的な資材費、用地買収費、借地料、補償費、種苗購入費等は交付対象としない。
- ・施設撤去費用は 1 億円未満が支援対象となる。ただし事業費との合計が 1 2 億円未満となること。